

団体名:桃山学区防災ミーティング

活動名:地域の連携協力による防災力強化と助け合いの環境づくり

日時:令和2年11月6日(金) 19時00分~21時00分

場所:桃山コミュニティーセンター

■団体の紹介■

桃山学区内の全19町内会と関係団体で構成される「桃山学区防災ミーティング」。地域をつなぐ「連携の輪」の役割を担い、参加組織が協力して防災態勢づくりや、自主防災活動の強化、助け合いの仕組みづくりをすることで、地域の安全度を高めることが目的。

■活動の内容■

コミュニティーセンターで行われた防災ミーティング。これまでコロナ禍で見送られ、初めての開催。また今回はフル参加で27名が集まりました。活動助成団体の代表者や担当者が、個別に連絡した甲斐もあっての初ミーティングの開催です。

当日は密を避けるために、4グループに分かれて着席し、換気の為全ての窓を開放。マイクは司会をしている健康管理サポーターの方が必ず持って話してもらうという徹底ぶりです。



会場は夜という事もあり、少し冷えましたが、万全のコロナ対策で開催されていました。参加者は、一人ずつ所属と自己紹介をしていきながら会は始まりました。

事務局長から、「地震や災害が起きた時に何から始めるか」という話から、「最終的には自助も必要だが、日頃から隣近所と連携できる共助がカギとなる」といった地域の防災計画の必要性について語られました。事務局からも、コロナ禍の真ただ中で行われた伝達訓練の問題点や成果について結果を報告されました。



その後、伝達訓練時の安否確認について
の問題点や困った事・個人情報の管理についてグループ毎で話し合いを行いました。

それぞれに感じた事を出し合って、付箋に書き出した後で発表する担当者を決めて最後に各グループのまとめの報告をしました。

「やらないより、やった方が良い」
「高齢者には伝わりにくい。電話に出ない人が居た」「LINEでグループ

を作って回した方が早い、みんなが出来るとは限らない」など様々な意見が聞けました。

今後は、担当者の二人で全ての町内会に個別に連絡をし、この会場に来てもらい、町内会ごとの個別の相談をしながら意識の擦り合わせをすすめるとの事でした。



事務局であるお二人の熱意と努力が、皆さんに伝わり今後の綿密で精力的な防災活動に繋がっていくのだと確信しました。今後も地域防災計画をみんなで作りあげていけるよう目標に向かって頑張ってもらいたいと思います。